

## 農業機械実習Ⅲ

講師名	細川 健	実務経験等	農業研究センターや農業改良普及センターにおいて、普及指導員や専門研究員として作業技術や労働改善の業務経験を生かし、農業機械の利用について実習を行う。
-----	------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
専門科目・共通科目	全学科	選択(自由)、必修(畜産のみ)	2	通年	30	1
使用教科書・副教材	自作テキスト					
授業の目的	仕業点検・トラクタ作業機着脱・簡易な工作等の技能を身につける。					
授業の到達目標	仕業点検・トラクタ作業機着脱・簡易な工作等について、農業機械士レベルの技能を習得する。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
1時間目	ガイダンス	実習内容説明	2	実習	
2～8時間目	農機運転操作と簡易な修理	トラクタ3点リンクへのプラウ装着・模擬作業での調整・取りはずしまでの連続作業の技能を習得	14	実習	
9～12時間目	農機点検整備と簡易な修理	1)トラクタ仕業点検、2)ねじ立て、3)工具の取扱いの3課題について技能を習得	8	実習	
13～15時間目	実技検定試験	4課題の実技検定試験(農業機械技能等向上研修技能検定を兼ねる)	6	実習	
	グループ分け	①農産・野菜経営科:6/9～12	合計30	時間	各最終日に、 実技テスト実施
		②果樹・花き経営科:9/14～17	合計30	時間	
		③酪農・肉畜経営科:9/28～10/1	合計30	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

**実技試験90%、平常点(出席状況及び学習態度)10%。**  
成績評価は、実技検定による習熟度を判定に加え、平常点を加えたものとする。

履修に当たっての留意点等

実習は農業機械研修所、トラクタコース、整備工場で実施。  
※実習でヘルメット、筆記用具、軍手、安全靴を使用。作業着を着用。